

理学療法学分野第 1 回入試問題、小論文の問題と出題のねらいについて

[問題 1]

2022 年度日本理学療法士協会は新生涯学習プログラムの運用を開始し始めました。現在行われている登録理学療法士，認定理学療法士，専門理学療法士の役割を明確にして下さい。そして，それらの制度における身分保障の観点で，現在よりもさらに良くする方法について，どのようなシステムとすることが良いか，あなたの意見を論述しなさい。

[問題 1 : 出題意図]

大学院にて理学療法学を学ぼうとする受験生の素養として、日本理学療法士協会が実施している理学療法士の生涯学習について理解しておくことは大切なことである。本問題のねらいは、日本理学療法士協会が設定している登録理学療法士、認定理学療法士、専門理学療法士の 3 つの資格の特徴を理解しているかを確認することと、将来の生涯学習を改善する方法についての意見を求めることにより、本人の現状と理想から導かれる具体的な道程についての見識を確認しようとした。

[問題 2]

理学療法士免許取得 1 年後における理学療法士に求められる臨床能力とその判定方法について，段階的に論述しなさい。

[問題 2 : 出題意図]

理学療法学教育を含む医学教育では、ルーブリックを基に学習計画が形成されていることが一般的であるが、理学療法士免許取得してから 1 年間は、理学療法士として最も大きな変化を経験する時期である。卒業後の理学療法士が、一定期間ごとに到達する目標とそれを達成するための方略については、施設ごとに設定され、新人理学療法士にも説明されている。本問題の狙いとしては、臨床能力とその判定方法の段階について、大きなギャップを生じることなく設定されていることを自身の経験と客観的に振り返ることにより、再認識することを目的に出題した。